

International activity reports

平成30年度 国際交流セミナー 【学生の海外研修帰国報告会】

国際交流情報 Vol.11
2018.4

国際交流をもっと身近に、そして気軽に触れる機会として、昼休憩を活用した「国際交流セミナー」を2015年から実施しています。

今回は「学生の海外研修帰国報告会」として

フィリピン大学マニラ校短期研修 **ラ・ソース大学短期留学** **青年の船**
これらのプログラムに参加した学生が留学や研修の様子を伝えてくれました。



フィリピン大学マニラ校短期研修

平成30年2月19日～24日まで、平成29年度3年生の5名がフィリピン大学マニラ校看護学部での4日間のプログラムに参加しました。

フィリピン学生と一緒に大学での講義や演習に参加したり、フィリピン学生の病院実習のシャドウイングを行いました。フィリピン学生は質問や意見を積極的に述べ、教員や学生同士でのディスカッションが活発だったことや、フィリピンの看護学生は7名前後の患者を担当し責任ある行為を実施していたことなどが報告されました。

本学では平成29年度から のプログラムが開始となりました。 に関してはラ・ソース大学と留学の派遣・受け入れ協定を結びました。平成30年10月にはラ・ソース大学から留学生を受け入れる予定です。

どの帰国報告者も自分から意欲的にプログラムに参加しました。初めての派遣だったので不安面もあったのではないかと思います。全員それぞれ貴重な体験を得て帰国しました。各自の学びが今後の学生生活、その先の人生に大きな糧となることは間違い無いと感じました。

ラ・ソース大学短期留学

平成30年3月2日～25日まで、平成29年度3年生の2名がスイスにあるラ・ソース大学に短期留学し、大学での講義や演習、病院実習などを行いました。

多くの国に囲まれるスイスの特徴から、フランス語、ドイツ語、英語など多言語が飛び交う病院実習の場面があったそうです。**ラ・ソースの学生は**病院実習では1対1でチューターが指導にあたり、最大7名の患者を担当し多くの看護処置を実施してたことなどが報告されました。



青年の船

平成30年2月に6週間、平成29年度3年生の1名が青年の船に参加しました。これは本学のプログラムではなく、内閣府が主催する青年事業です。

すべて自分で計画的に準備をして最終面接を見事突破して参加者として選ばれました。多様な国々からの参加者との交流を通し多くの友人ができたこと、世界を見る目が変わったという報告がありました。



担当：日本赤十字広島看護大学 国際交流委員会